

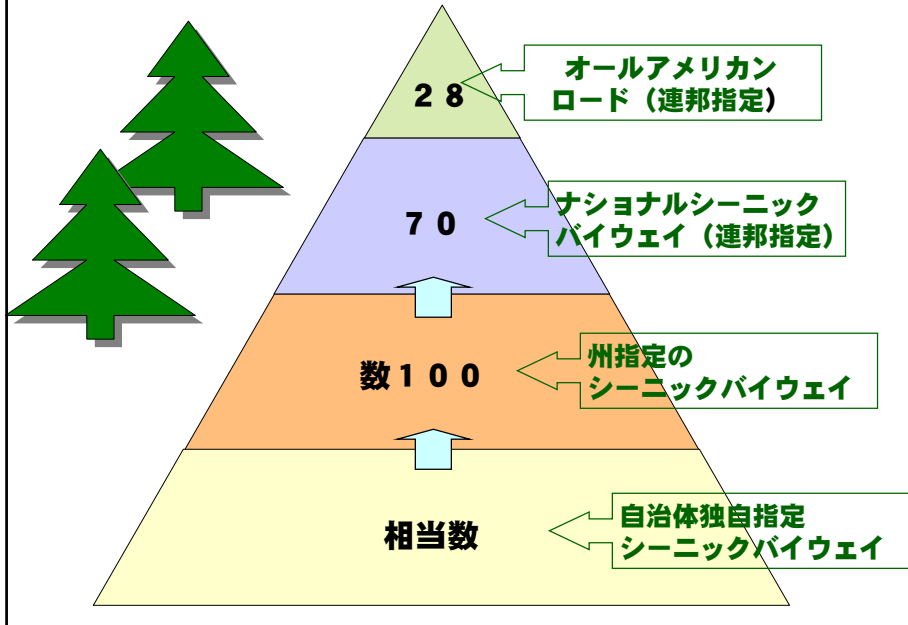
# 米国のシーニック バイウェイプログラム

国土交通省北海道局地政課  
開発専門官 和泉 晶裕

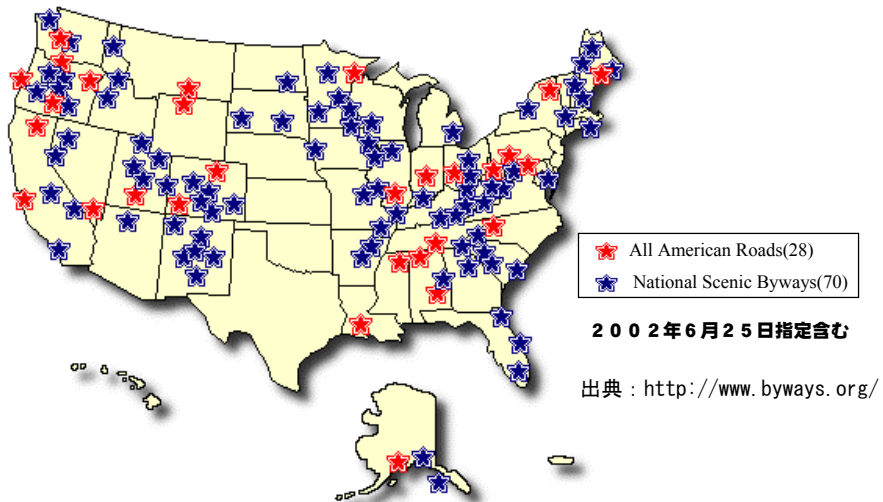
## 米国における シーニックバイウェイプログラムの経緯

- 1989 シーニックバイウェイ法の制定  
(国家ガイドライン及び指定基準の策定、経済効果の研究の指示)
- 1991 総合陸上交通効率化法(Inter-modal Surface Transportation Efficiency Act of 1991 (ISTEA))に基づきシーニックバイウェイ国家諮問委員会  
(17名の委員)設置、報告書提出(固有特性、指定基準、登録方法等)
- <各州における検討期間>
- 1996 第1回指定
- 1998 21世紀交通平衡法  
(The Transportation Equity Act For the 21st Century (TEA-21))  
第2回指定
- 2000 第3回指定
- 2002 第4回指定

# シーニックバイウェイの指定ルート体系



# 連邦指定のシーニックバイウェイ



## 全米シーニックバイウェイプログラム

### プログラムの趣旨

- 景観性、歴史性、自然性、文化性、レクリエーション性、考古学性の6つの視点から傑出した価値を保存することにより、合衆国内の景観の長期的維持と充実を図ること。
- 国内外の旅行者を増加させ、州や地方の経済効果を生み出すこと。
- 全ての旅行者に幅広い体験学習の場を提供し、教育と理解の機会を与え充実させること。

### プログラムの原則

- 地域の個人・団体、州・自治体が指定や昇格の原動力
- 州の国家プログラムの参加は全くの任意
- 指定の決定は、基準の範囲内であれば、不必要な提出書類を排除し、早急に行うことが重要。

## 全米シーニックバイウェイプログラム

### プログラムの構成

- あらゆる公道が本プログラムに適用（農道、公園内道路問わず）
- 「シーニックバイウェイ」は道路そのものではなく、道路が通っているコリドーも指している。コリドーは幅や長さが多様であり、その定義も多様
- 希ではあるが、州指定でなくても連邦指定を受けられる。
- オールアメリカンロード：6つの固有特性のうち、2つ以上該当  
シーニックバイウェイのスーパースター！！
- ナショナルシーニックバイウェイ：6つの固有特性のうち、1つ以上該当

## 全米シーニックバイウェイプログラム

### シーニックバイウェイの基本的基準

ナショナルシーニックバイウェイ及びオールアメリカンロードに最低限求められる

- **6つの固有特性のうち、1つを備えていること**
- **次の5項目のうち1つにあてはまること**
  - ・設計指針及び基準の作成等により**固有特性を維持**すること
  - ・旅行者用施設、安全性、観光案内等**利用者のための性質**を有すること
  - ・計画・実施過程において土地所有者、企業、市民等**民間の参加**を保証すること
  - ・あらゆるレベルで**国内外の旅行者に対して広報、マーケティング**活動が行われること
  - ・歴史的建造物の修復、植林等固有特性を改善する活動やガイドブック、ビジターセンター等のサービスが行われ**コリドーの充実**が図れること
- **道路は可能な限り連続性し、旅行者の目障りとなるものは最小限であること**

## 全米シーニックバイウェイプログラム

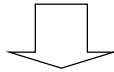
### オール・アメリカン・ロードに指定されるための付加基準

ナショナルシーニックバイウェイの基準に加え以下の基準が付加される。

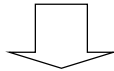
- **安全性の確保** ~観光バス、自動二輪車が安全に通行できること
- **自転車、歩行者への配慮**
  - ~適所で自転車、歩行者の通行が保証され、休憩所や水飲み場等があること
- **海外からの旅行者への配慮** ~国際的な位置・標識表示が設置されていること
- **連続性、景観性の配慮**
  - ~道路は可能な限り連続性し、旅行者の目障りとなるものは最小限であること
- **自治体の責務** ~沿線自治体はコリドー管理計画に対して多大な支援と協力を制約すること
- **固有特性の維持**
  - ~固有特性の維持に対する取り組みを示すこと
  - ~固有特性の維持活動について「誰が何を行うか」が明確にされていること
  - ~固有特性を最もよく反映している箇所に最大の注意を払うこと

# シーニックバイウェイの指定の流れ

**地域の自治体、企業、NPO等**  
推薦のための書類を州に提出

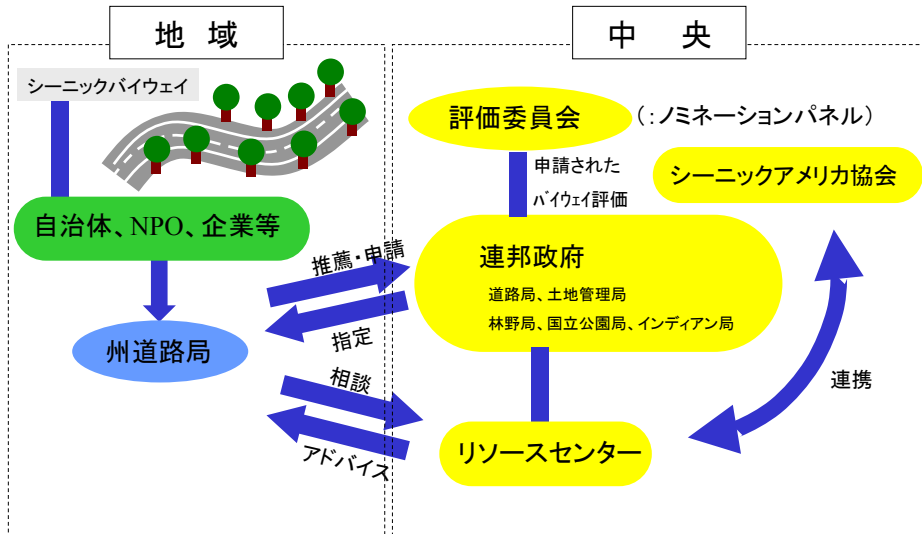


**州のシーニック・バイウェイ局(SSBA)**  
州が推薦に相応しいと判断した場合に、州からFHWAへ推薦書を提出。



**連邦道路庁(FHWA)**  
連邦政府は、6~8名の委員(道路、観光、経済等の専門家)を任命し、推薦されたバイウェイの検討が行われるとともに、連邦政府の各部署に適宜諮問のうえ、運輸省長官によって指定される。

# シーニックバイウェイ組織体系図 (連邦指定の場合)



## FHWA(米国連邦道路庁)

FHWAの役割は以下の4点である。

- Nomination (指名申請 : 2年に1回実施される)
- Designation (指定 : 運輸長官が指定する)
- Grants (補助金交付 : FHWAから各州を通じて  
Byway運営組織に交付される)
- Marketing (マーケティング)

## ノミネーションプロセス

ステップ1: FHWA本部で推薦を受け付ける(2月4日)

ステップ2: FHWAによるノミネーションパネル設置(2月初旬)

ステップ3: FHWAスタッフによる一次選考(2月中旬)

ステップ4: パネルメンバーへの候補資料の送付(2月下旬)

ステップ5: パネルメンバーの会議(4月9日~11日)

ステップ6: 決定準備(5月初旬)

ステップ7: 発表(5月中旬)

# ノミネーションパネル

FHWAは、DOT以外から7名の専門家を招き、それぞれの推薦道路の事前評価を行う。パネルメンバーは、シーニックバイウェイの指定要素のそれぞれに専門的な知識を持つ人やレクリエーション、観光、交通運輸などに多くの経験を持った人を選ぶ。

- FHWAは、パネルメンバーが合意に達することを求めてはならない。
- それぞれ候補ルートについて、完全に独自の評価を行う。
- パネルメンバーの持つ経験や知識に基づいて、FHWAの推薦及び指定ポリシー等を考慮して、それぞれの候補路線独自の優位点を評価する。
- 積極的に議論に参加する。

## 評価シート

### NSB総合評価シート

NSB Byway Evaluation Cover Sheet

Byway: **Great River Road** State: **Arkansas**  
 Reviewer: **Rick Taintor** Designation Level: **NSB** National Scenic Byway  
 Primary Intrinsic Qualities:  Historical Quality  Recreational Quality  
 Scenic Quality

バイウェイ名: **Great River Road**  
 パネルメンバー名: **Rick Taintor**  
 州名: **Arkansas**

Impressions of Secondary Intrinsic Qualities:  
 • Is this byway warrant designation under this category?  
 • What information on other IQ's should be considered?  
 • Other notes or observations about this byway's secondary IQ's:

第一固有特性

第二固有特性に対する感想

General Impressions from nomination:  
 • Impressions concerning regarding continuity of byway or travel experience  
 • Impressions concerning the context of this byway within state or region  
 • Observations regarding support or ability to serve travelers  
 • Information for supporting information

指定したミネーションから受ける一般的な感想

運輸省長官への指定推薦

Your Recommendation to the Secretary of Transportation on designation:  
 Designate as NSB  No Designation  
 • This is of regional significance  
 • This road is regionally significant

Signed: \_\_\_\_\_ Dated: \_\_\_\_\_  
 署名

### 文化特性

Cultural Quality

Byway: **Great River Road** State: **Arkansas**  
 Designation Level: **NSB** Reviewer: **Rick Taintor** Primary Quality  
 Secondary Quality

Policy Definition:  
**Cultural Quality** is the traditions of a distinct group, but not limited to, crafts, music, food, special events, vernacular architecture, etc., are currently practiced. The cultural qualities of the corridor could highlight one or more significant communities and/or ethnic traditions.

政策定義

Does this nomination include features meeting this definition and when considered together, do they constitute Cultural Quality?  
 Please explain:  
 地域における文化特性の重要性

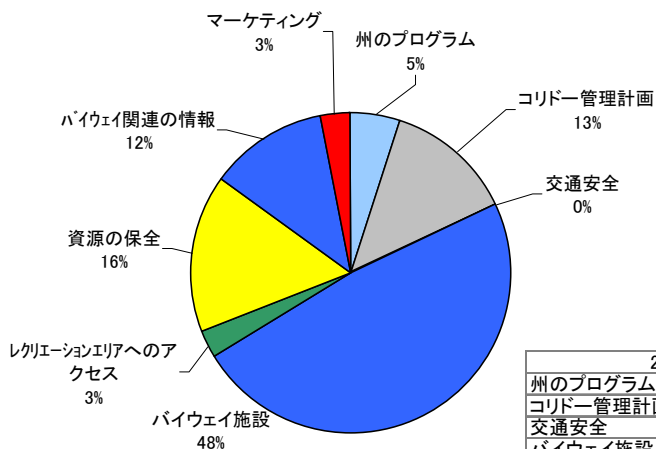
Regional Significance of Cultural Intrinsic Qualities:  
 Are the characteristics associated with this road's Cultural Qualities distinct and most representative of the road's multi-state region?  
 Yes  No  
 Please explain:

Other notes, e.g. IQ Related Questions and Issues for Discussion with panel or staff:  
 その他、質問

## Grants(助成金交付)

- 道路建設は助成対象とならない。
- 助成対象分野
  - 州のシーニック・バイウェイプログラム
  - コリドー管理計画
  - 交通安全
  - バイウェイ施設(休憩所・展望所等)
  - レクリエーションエリアへのアクセス
  - 資源の保全(景観・歴史・文化・自然・考古学等)
  - バイウェイ関連の情報(観光情報等)
  - マーケティング

## 2002年の助成金内訳



2002年の助成金	
州のプログラム	\$1,217,237.00
コリドー管理計画	\$2,913,193.00
交通安全	\$34,400.00
バイウェイ施設	\$10,976,381.00
レクリエーションエリアへのアクセス	\$734,066.00
資源の保全	\$3,636,647.00
バイウェイ関連の情報	\$2,809,156.00
マーケティング	\$732,320.00
	\$23,053,400.00



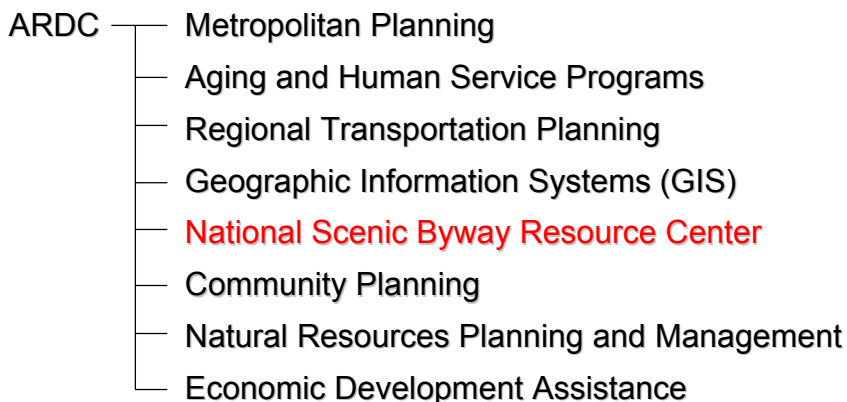
## ナショナル・シーニックバイウェイ・リソース・センター National Scenic Byway Resource Center

**ナショナル・シーニックバイウェイ・リソースセンターの役割は以下の4点である。**

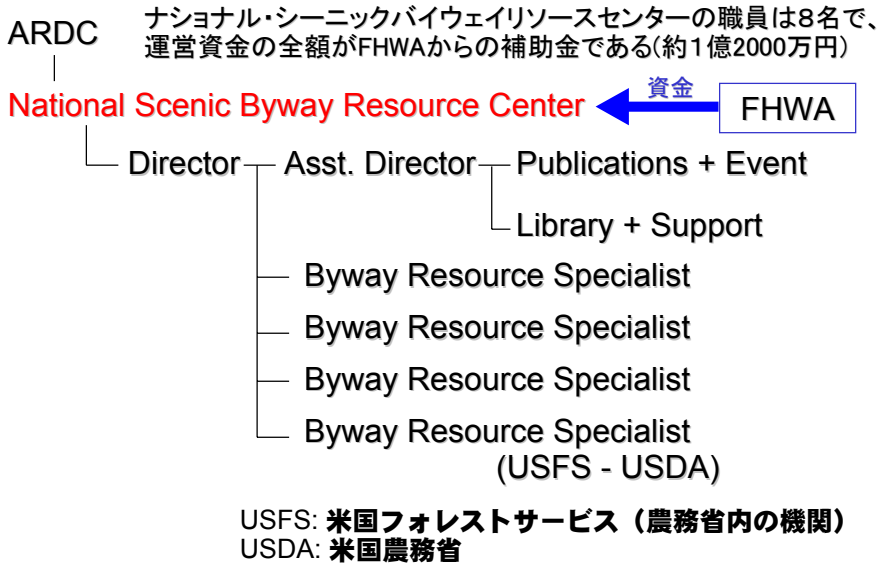
- Facilitation (事業の円滑化、支援、助力)
- National Conference (全国会議の開催・2年毎)
- Training (トレーニング、教育)
- Publications (出版)

## リソースセンターの組織

ARDC : (アローヘッド地域開発コミュニケーション)の1機関  
→ミネソタ州ダルース市にあり、約50人のスタッフでアローヘッド地域の地域計画の立案を行っている



## リソースセンターの組織

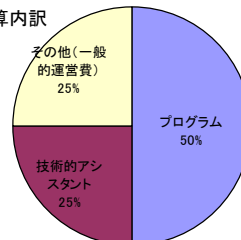


## シーニックアメリカ協会(国指定のNPO) 組織概要・予算

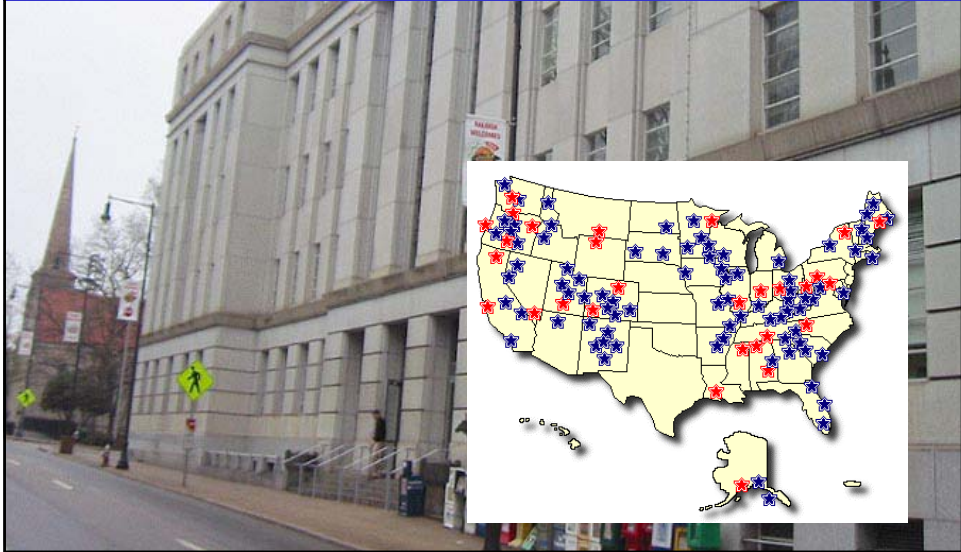
- Scenic Americaは、1978年に屋外広告規制運動をきっかけとして設立された国指定のNGO団体であり、現在、アメリカ全土に24の提携NGOを持っている。現在7,000人のメンバーがいる。
- 州やコミュニティにおいて、環境・景観保全の向上を図る為の市民活動を促進することが役割となっている(標識規制、教育、美化事業実施等)。
- FHWAと深い結びつきがあり、FHWAの出版物に対する技術・情報提供を行っている。
- 年間予算は、75万ドル



年間予算内訳



# ノースカロライナ州道路局



## ノースカロライナ州道路局(NCDOT) NC州シーニックバイウェイプログラムの経緯

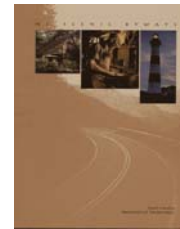
- 1980年代 特別専門委員会を設置し、バイウェイの基準を確立
- 1990年 基準の決定、31ルートの登録
- 1993年 州シーニックバイウェイ法の制定  
屋外広告規制の開始
- 1996年 7ルート追加
- 1997年 6ルート追加
- 2000年 1ルート追加
- 2002年 現在45ルート（22ルートの申請を受付中）



# ノースカロライナ州道路局(NCDOT) シーニックバイウェイ運営の特徴



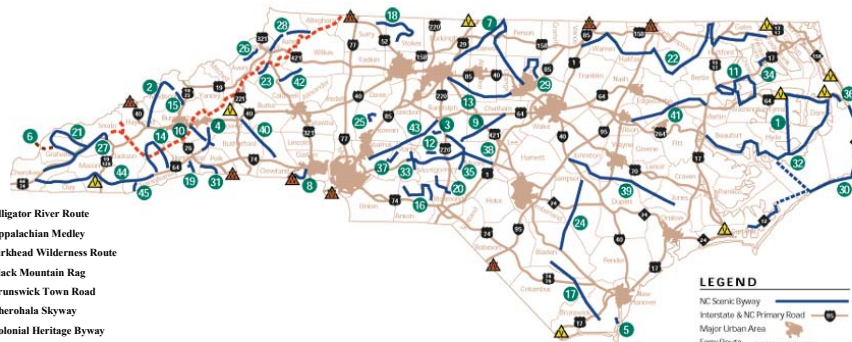
- 山脈地域、山麓地域(丘陵)、海岸地域の3地域に分類
- 州全体に分布するよう配慮 → バイウェイの発見に重点
- NC州では「景観性」を重視
- NGOによる申請が主
- 延長は3~150マイル
- 州1名のコーディネーターが各種補助金、寄付金等資金収集
- 広報・マーケティング



NC SCENIC BYWAY冊子

- ・NC SCENIC BYWAY冊子の制作と配布 ・ウェブサイトの開設
- ・AAAまたは他企業との提携 ・NC州以外の州での広報活動 -ロゴの制作
- ・12万4千\$ (マーケティング予算・2002年度)

# ノースカロライナ州道路局(NCDOT) NC州シーニックバイウェイの指定状況



- |                                  |                               |                                |                                     |
|----------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1. Alligator River Route         | 19. Indian Heritage Trail     | 28. North Durham Country Byway | 37. Sandhill Scenic Drive           |
| 2. Appalachian Medley            | 20. Indian Lakes Scenic Byway | 29. Outer Banks Scenic Byway   | 38. Sherman's Run                   |
| 3. Birkhead Wilderness Route     | 21. Lafayette's Tour          | 30. Pacolet River Byway        | 39. South Mountain Scenery          |
| 4. Black Mountain Rag            | 22. Little Parkway            | 31. Pamlico Scenic Byway       | 40. Tar Heel Trace                  |
| 5. Brunswick Town Road           | 23. Meteor Lakes Byway        | 32. Pee Dee Valley Drive       | 41. Upper Yadkin Way                |
| 6. Cherohala Skyway              | 24. Millbridge Scenic Byway   | 33. Perquimans Crossing        | 42. Uwharrie Scenic Road            |
| 7. Colonial Heritage Byway       | 25. Mission Crossing          | 34. Pottery Road               | 43. Waterfall Byway                 |
| 8. Crowder Mountain Drive        | 26. Nantahala Byway           | 35. Roanoke Voyages Corridor   | 44. Whitewater Way                  |
| 9. Devil's Stompin' Ground       | 27. New River Valley Byway    | 36. Rolling Kansas Byway       | 45. Historic Flat Rock Scenic Byway |
| 10. Drover's Road                |                               |                                |                                     |
| 11. Edenton-Windsor Loop         |                               |                                |                                     |
| 12. Flint Hill Ramble            |                               |                                |                                     |
| 13. Football Road                |                               |                                |                                     |
| 14. Forest Heritage Scenic Byway |                               |                                |                                     |
| 15. French Broad Overview        |                               |                                |                                     |
| 16. Grassy Island Crossing       |                               |                                |                                     |
| 17. Green Swamp Byway            |                               |                                |                                     |
| 18. Hanging Rock Scenic Byway    |                               |                                |                                     |

**LEGEND**

- NC Scenic Byway
- Interstate & NC Primary Road
- Major Urban Area
- Ferry Route
- Blue Ridge Parkway
- "All American Road"
- Cherohala Skyway
- National Scenic Byway
- North Carolina Welcome Center
- North Carolina Visitor Center

出典：NCDOT [2001] , "NC Scenic Byways", 2nd Edition, NCDOT

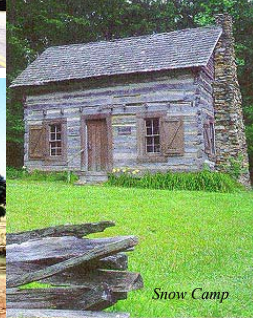
# 山脈地帶

## Cherohala Skyway - NC 143 Graham County



# 山麓地帶

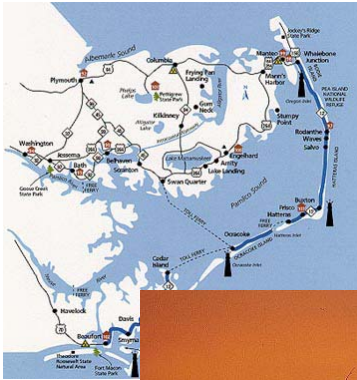
## Football Road- SR 1005





## 海岸地帯 Outer Banks Scenic Byway- NC 12

Photos Courtesy of NC Division of Tourism, Film and Sports Development



## ノースカロライナ州道路局(NCDOT) 実施プログラム

- **Adapt A Highway(AAH)組織**  
6000以上のボランティアグループにより13,000マイルの州道路の植樹、剪定、清掃等各種活動が行われている。
- **Bicycle & Pedestrian Transportation**  
NC州の公園、都市、娯楽地を結ぶ充実したサイクリングロード“Bicycle Highway”の維持を重点的に実施
- **Bridge Recycle Program**  
州の歴史的なトラス橋を保護するためのプログラムを実施(1978年より)
- **The Environment & Recycling**  
河川、湿地等の保護のため、トレイルの建設、浸食防止工事等のプロジェクトが実施されているとともに、リサイクルプログラムでは車のスクラップを集めて橋や擁壁を作っている。
- **Wildflower Program**  
一般市民からの寄付や募金により、年数回道路脇の花壇の手入れをしたり、種を蒔く作業を実施。

# Mountains to Sound Greenway Trust (MSGT)

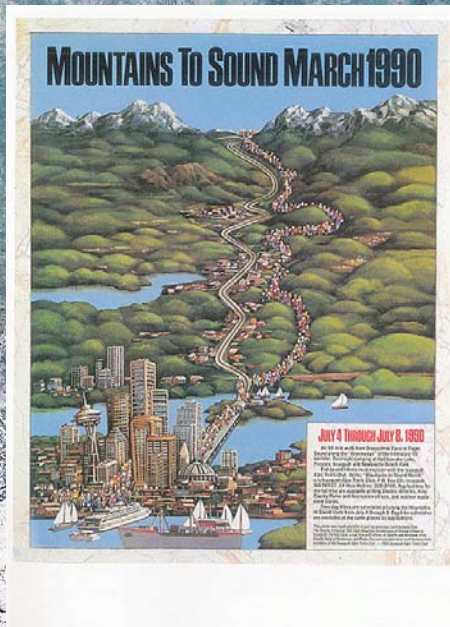


## Mountains to Sound Greenway



## MSGT設立の背景

- ポストンとシアトルを結ぶI-90の開通をきっかけに都市化の拡大による森林破壊、地方部の疲弊が器具された。
- 1990年の森林保全を提唱しつつ開催されたハイキングがMSGT設立のきっかけとなった。(右図)。



## MSGT(Mountains to Sound Greenway Trust)(NPO) 組織の経緯と活動内容

- MSGTは、1991年にI-90(後にアメリカで唯一国立シーニック・バイウェイとして指定された州間高速道路となる)周辺の環境保全を目的としたNPO団体として設立された。
- 理事会は、連邦政府、州政府、地方自治体、民間企業の幹部、環境保全団体、一般市民などから成る68名のメンバーで構成されている。
- MSGTは、ディベロッパーからThe Trust of Public Land(NPO団体)を通して土地の買収をし、公的土地に変換していく。基本的には土地は一切所有していない。
- 開発と自然保護の融合を考えた都市型バイウェイのあり方を追及し続けている。
- 1998年に全米で唯一の高速道路のシーニックバイウェイとして指定された。

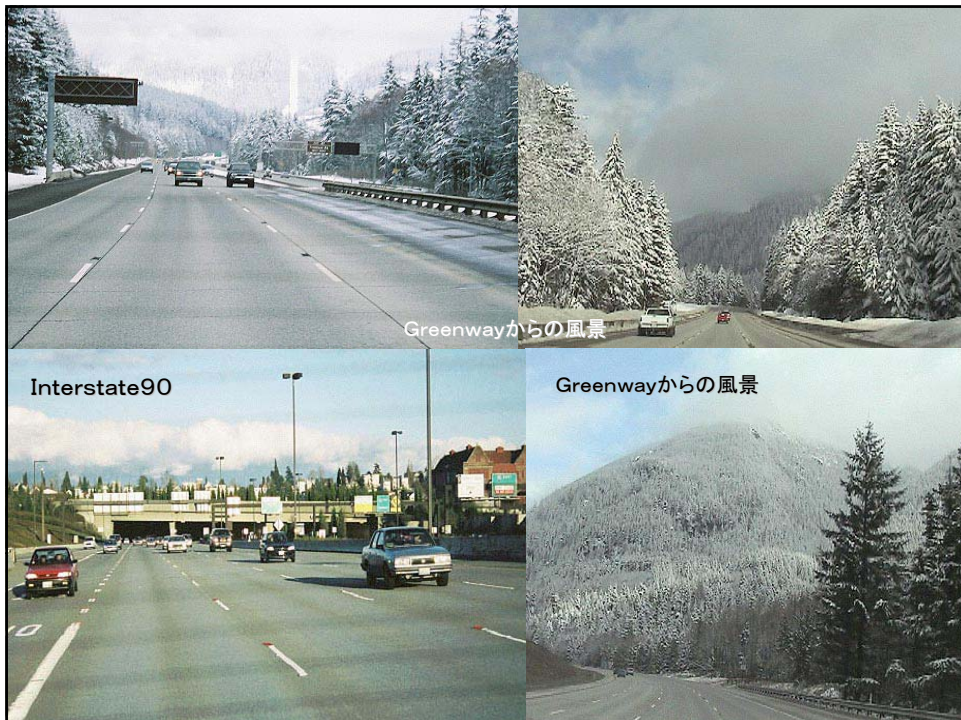


# MSGT (Mountains to Sound Greenway Trust) (NPO) 景観保全

沿道景観を保全するため、目隠しの植樹、構造物建築への圧力、土地利用の集約化などが行われている。



企業広告は、年間100万円で大きさ、デザインが統一された看板に集約され、乱立が防がれている。





## BRP(Blue Ridge Parkway)(内務省国立公園局事務所)

### BRPの経緯、概要

・バージニア州Shenandoah国立公園とノースカロライナ州Great Smoky国立公園を結ぶルート

・**最初のシーニックバイウェイ**と言われる

ブルーリッジパークウェイは、1930年代よりルーズベルトニューディール政策のもと始まり、1939年に最初の区間が供用してから、1987年までに全長約470マイルが完成

・ノースカロライナ州の区間が“All American Road”に指定されている。

このパークウェイは、1930年に作られたということから、安全性を重視したものではなく、年間予算の約50%は、再舗装をしたり、カーブの補修など、道路環境の向上を図る作業に使われている。また、維持管理を容易にするため、パークウェイを約110マイルごとの4区間に分けている。

## BRP(Blue Ridge Parkway)(内務省国立公園局事務所)

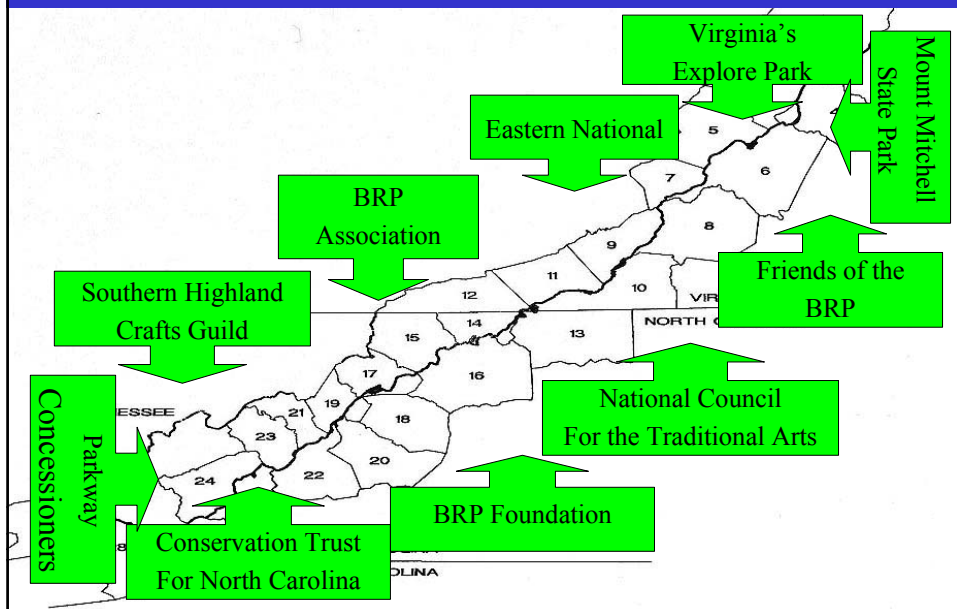
### 運営組織

ブルー・リッジ・パークウェイは、内務省、国立公園局(National Park Service)が管轄するナショナルパークウェイの1ユニット

国立公園局は、NPO(The Blue Ridge Parkway Association・Friends of the Blue Ridge Parkway・Blue Ridge Parkway Foundation等)、教育機関、地方自治体、州政府、連邦政府、民間企業などの広範囲にわたる組織と協力し合いながら、パークウェイのプロジェクトやプログラムを実施



## BRP(Blue Ridge Parkway)(内務省国立公園局事務所) コリドー(街道の)パートナー



## BRP(Blue Ridge Parkway)(内務省国立公園局事務所) BRPのNPO

### Blue Ridge Parkway Association

約50年前に設立されたNPO。  
ブルーリッジパークウェイを始め、バージニア、ノースカロライナ、テネシーの3州におけるパークウェイにおける宿泊施設、ショップ、レストラン等の業界がメンバーとなり、年間約2,200万人のビジターに対して各種サービス、ガイドブック、ウェブサイトを立ち上げなどを行っている。

### Friends of the Blue Ridge Parkway

1989年に設立され、3000人のメンバーにより、主にブルーリッジパークウェイの景観の保護を行っている。パークウェイに関する各種情報の提供、清掃、植林、トレイルの改築等のプロジェクトへの協力も行っている。

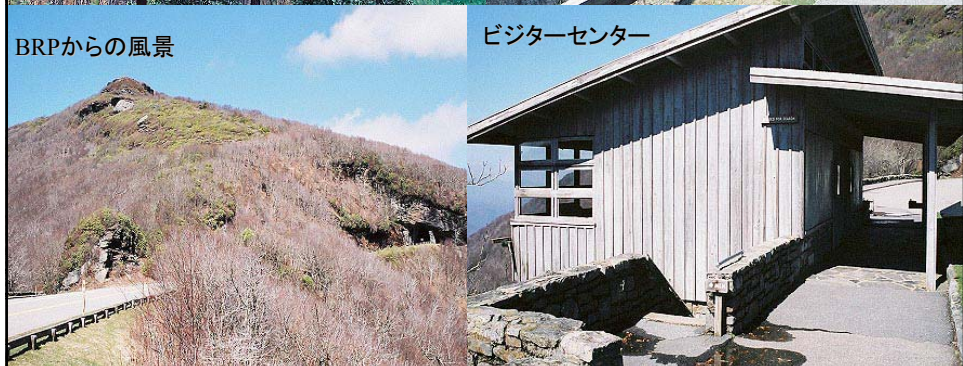
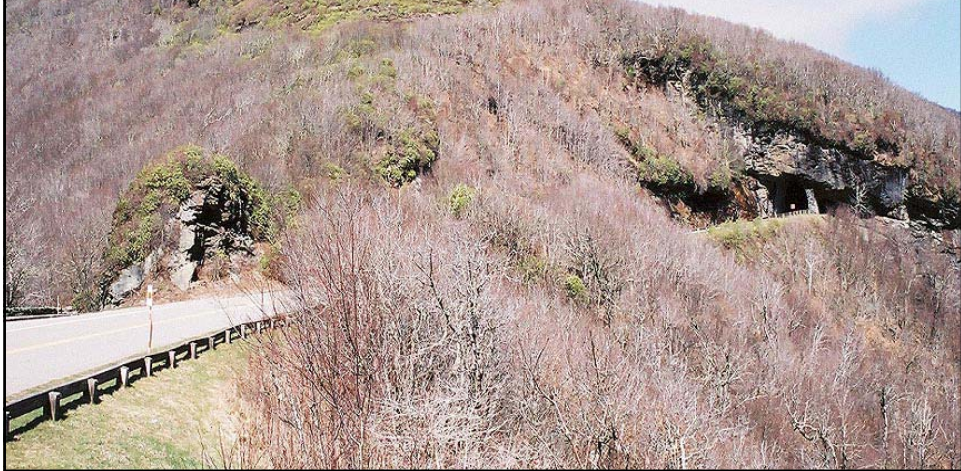
### Blue Ridge Parkway Foundation

1997年に設立され、国立公園局と協定を結び、ブルーリッジパークウェイの代表として、民間からの財政支援を受けたり、資金を集めている。

# BRPの経済効果

年間 2,200,000,000 US\$

年間平均20,000,000人の旅行者







木製の車止め



BRPからの風景



天然石を施したトンネルの坑門



BRP内のレストラン



天然石を施したトンネルの坑門



BRPからの風景



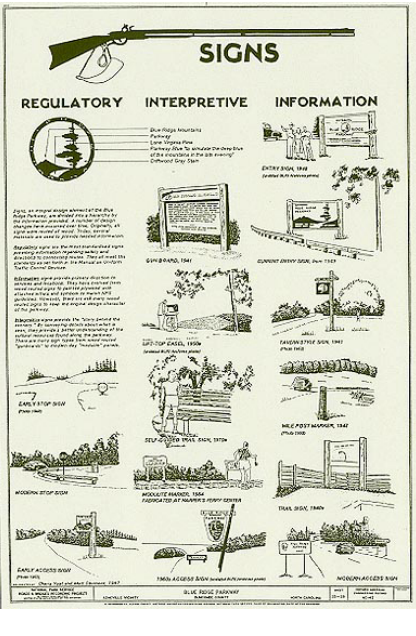
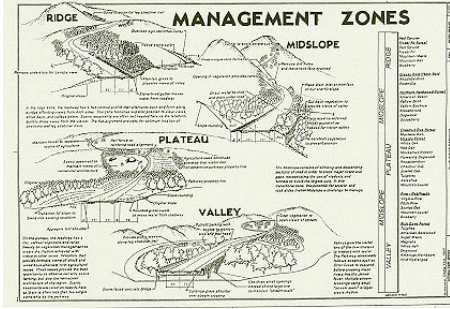
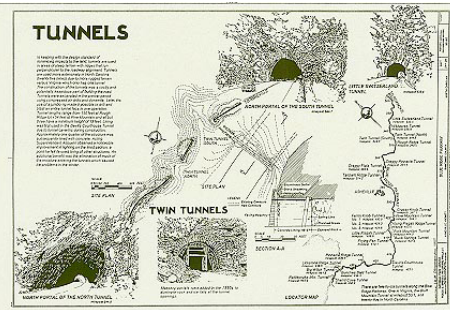
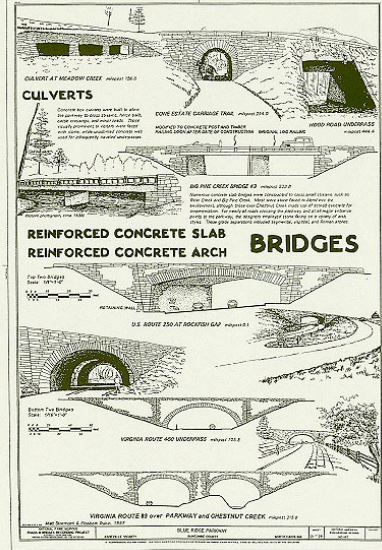
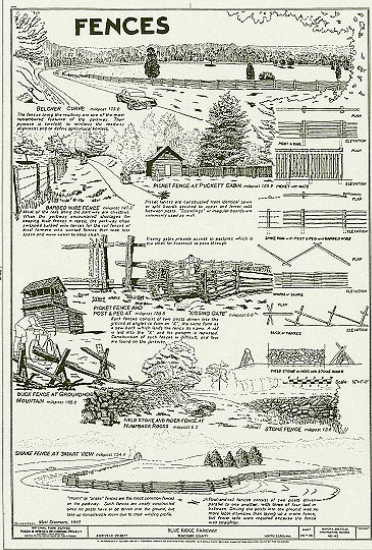
BRPからの風景



BRPから眺める山頂の駐車場

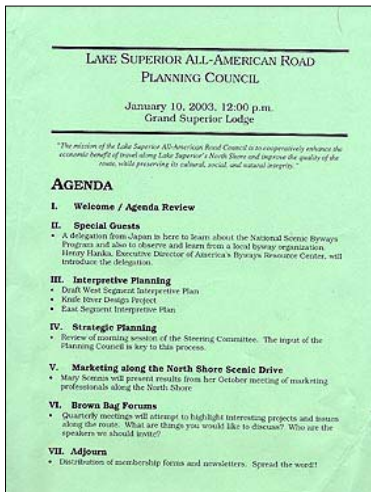


# BRP(Blue Ridge Parkway)(内務省国立公園局事務所) BRPの景観・デザイン



# バイウェイ管理運営組織の活動

## Lake Superior オール・アメリカンロード運営委員会計画部会



### 議事次第

- スペシャル・ゲスト
- バイウェイ関連情報計画 (パンフ、サインボード等)
- 戦略計画
- マーケティング・フォーラム

## 運営委員会計画部会

### 会議の様子



- バイウェイ関連情報計画
- 西地区バイウェイ関連情報計画案
  - Knife河設計プロジェクト
  - 東地区バイウェイ関連情報計画



# Knife河設計プログラム



## ニュースレター

### North Shore Scenic Drive NEWSLETTER

A quarterly publication of the Lake Superior All-American Road Planning Council

#### Planning Council Meeting NORTH SHORE Friday, January 10, 2003

The next quarterly meeting of the Lake Superior All-American Road (LSAAR) Planning Council will be held on Friday, January 10th from 12:00 p.m. to 2:00 p.m. at Grand Superior Lodge. We will be updating you on activities along the North Shore Scenic Drive over the past three months. In addition, we hope that you can share interesting news about future projects and happenings along the route. Topics on the agenda will be discussed later in the newsletter. An official agenda will be e-mailed out prior to the meeting.

Launch will be joined on the Niagara river at 12:00 p.m. Please contact Leah Koser at 218-529-7515 or leah@arc.org by January 6th at 5:00 p.m.

#### Interpretive Planning

ARC has been working with the Planning Council to complete two projects involving interpretive planning on the North Shore Scenic Drive. The first is the completion of an interpretive plan for the Canal Park to Two Harbors portion of the route. The second project, which is just beginning is an interpretive plan for the section of the North Shore Scenic Drive from Two Harbors to Grand Portage. The end goal is to have a seamless plan for the entire route.

Interpretive planning is a process to identify possible sites for interpretation of the natural, cultural, historical, and scenic elements that define the North Shore Scenic Drive. In addition, an interpretive template that offers a diverse, easily identifiable pattern will be created by the consultant team working on this project.

The Steering Committee has authorized ARDC to execute a contract with the University of Minnesota College of Architecture and Landscape Architecture (CALA) to complete the project. The CALA project team will be led by Mary Vogel, who has experience in Northeastern Minnesota through her work with the Mesabi Trail. We are looking forward to working with Mary and her colleagues.

ARDC will be seeking input from local citizens and community groups between Two Harbors and Grand Portage in the next few months on natural, cultural, and historic elements they value along their stretch of the highway. I encourage you to contact us if you would like to hear more about this project.

#### Our mission...

To cooperatively enhance the economic benefits of travel along Lake Superior's North Shore and improve the quality of the trip.

#### About the Steering Committee

The Planning Council is guided by a Steering Committee that meets quarterly. Members include:

- Larry Moss, Chair, Lanesboro, MN
- Bill Miles, Executive Director, Duluth, MN
- Joan Fay, St. Louis County Commissioner, Whitefish, Lake Superior
- John Kowal, North Shore business owner, Duluth, MN
- Bob Howank, Cook County Commissioner, Mary Swann, Director of Marketing and Tourism, ESSBA
- Bill Adams, Grand Portage, MN

The Planning Council is staffed by ARDC consultants, grant from the Federal Highway Administration.

The full Planning Council conducts quarterly meetings. Meetings are open to the public. The Steering Committee strongly encourages citizens, business, local and state personnel, and others who have an interest in the North Shore to come to the meeting.

### STRATEGIC PLANNING 2001

In March 2000, a Strategic Plan was completed for the North Shore Scenic Drive. This plan contained a strategic vision, along with short-term and long-term goals. The Steering Committee made a commitment to evaluate this Strategic Plan as part of the 2001-2003 work plan. The process began this fall with a session facilitated by Tim Campbell from the Minnesota Office of Tourism. Along with the minutes you see at the bottom of page one of the newsletter, the Steering Committee outlined the following:

#### Vision Statements

1. The Highway is a destination in and of itself.
2. High quality infrastructure enhances the Highway experience.
3. The Highway is well promoted and travelers are well informed.
4. The Lake Superior All-American Road Planning Council is a stable organization, in it for the long term.
5. The Highway is still scenic.

The second phase of the strategic planning process is to formulate short-term and long-term goals. Tim Campbell will once again be leading the Steering Committee through this process. The strategic planning session will begin at 9:00 a.m. on Friday, January 10th at the Grand Superior Lodge Showdown. If you are interested in assisting the Steering Committee with this process, please call Mary Schulte at 218-529-7515, email her at mschulte@arc.org or contact Larry Moss at 218-834-2900. Many of you may have worked with volunteer committees before and may have valuable input to have to create and implement a strategic plan.

#### News and Notes...

- Staff and five members of the Planning Council attended the MN State Scenic Highway Workshop, along with the distinguished US Forest Valley National Scenic Highway.
- Ongoing procedures for the LSAAR Planning Council will be available on-line.
- A \$17,000 grant was administered December 6, 2002 to Minnesota's Lake Superior Coastal Program to launch the University of MN College of Architecture and Landscape Architecture to school to be received from the Legislative Commission on the Lake Superior Scenic Drive.

This grant will be used to complete the interpretive plan for the North Shore Scenic Drive between Two Harbors and Grand Portage.

- Please e-mail Mary Schulte at mschulte@arc.org if you have suggestions for the next newsletter or would like to include events that a calendar being passed for the next newsletter.

#### Search for a Citizen Steering Committee Member

We are currently looking for a citizen member for the Steering Committee, from Lake or Cook County. If you are interested and able to commit to a meeting starting on the second Friday of each month, please contact Mary Schulte at ARDC at 218-529-7515 or mschulte@arc.org.

#### A Word from the Chair

By Larry Moss

Welcome to the first issue of the North Shore Scenic Drive Newsletter. During the past year the Lake Superior All-American Road (LSAAR) Planning Council, led by staff from the Arrowhead Regional Development Commission (ARDC) has continued on securing All-American Road status from Duluth's Canal Park to Agate Bay in Two Harbors. In June that designation was awarded by the Federal Highway Administration.

In June the earlier section from Two Harbors to Grand Portage.

A second segment, that is now largely complete, has been to define the rest of the LSAAR Planning Council and its strategic initiatives.

Now the work of cooperation with all the richness of our own experience about the area, the wealth of local businesses, restaurants, and accommodations, the excitement of events and activities, and the excitement of the Drive and the Lake will begin.

The LSAAR Planning Council needs the assistance and input of residents and visitors in promoting and enhancing the Lake Superior North Shore Scenic Drive experience.

#### NEWS SHORE

ARDC

Staffing is provided by Arrowhead Regional Development Commission • 221 West First Street • Duluth, MN 55802

Staffing is provided by:  
Arrowhead Regional Development Commission ~ 221 West First Street ~ Duluth, MN 55802  
Phone: 218.722.5545 | MN Toll Free: 800.232.0707 | Web Site: www.arc.org

## 米国シーニックバイウェイプログラムの 推進の特徴

- ①多様なNPOやバックアップ組織の存在
- ②地域の自主性の重視
- ③景観・環境保全の総合的手法